

あけましておめでとうございます

今年の夏に事務所は創設32年になります。

A.T.Network通信も第57号となりました。当初50号までは継続したいと考えていた目標を超えてお届けできることを嬉しく思います

最近では劇場・ホールの更新・改修のための調査や実施支援などが圧倒的に増えて、全国公立文化施設協会からの委託による派遣支援でも同様な仕事が増えました。劇場・ホールのかかりつけ医的な役割は数年前から心がけてきたことなので、むしろ積極的に活動を進めています。本年もよろしくお願い致します。

A.T.Network 代表 近江 哲朗

文化庁委託事業 支援員の派遣も多くの支援を重ねてきました

全国公立文化施設協会では毎年「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣による支援」という、施設に支援員を派遣して運用上相談や支援を受けたい施設への補助を実施しています。この支援員の活動をこれまでに随分多く行ってきました。平成13年度に熊本市市民会館で初めて支援を行って以降合計で10の施設で支援を実施してきました。これらの施設では施設の中長期計画を策定するにあたって現状を正しく理解してどのような検討を行うべきか、存続のためにどのような更新・改修を行うべきかといった課題を抱えていました。私にはこのようなケースの支援が特に多かったのですが、もちろん施設の老朽化に対応する目的以外にもさまざまな対応を行うことがこの支援制度の目的です。



写真-A.T.Network

過去の業務のアフターケアを積極的に始めました

事務所も創設30年を超えて初期の施設は開館30年を迎えつつあります。千葉県松戸市の「森のホール21」は昨年秋に開館30周年を迎えました。埼玉県熊谷市の「さくらめいと」は昨年早々に開館25周年を迎えています。いずれの施設もそれだけの年数を経ると各所で劣化が見られます。もちろん必要とされる更新は行われていますが、そろそろ大規模改修へ向けての準備が必要な時期になってきました。

これまでに携わってきた施設を訪問し、これからサポートすべき事項を調べることを始めつつあります。もちろん開館当初をご存知無い職員の方々には最初の一步から丁寧に説明しなければなりません。



写真-A.T.Network

編集後記 (神戸)

昨年は12月に入っても20℃を超えるような日が何日もありました。暑がりな私には大変困った事態です、気候変動の影響なんのでしょうか。春に桜、秋に紅葉が見られなくなるなんてことにならなければ良いですね。

お知らせ

年末年始休暇は2024年1月4日までとします。よって1月5日から通常業務となりますが、本年もリモートワーク併用とさせていただきますので、どうぞご了承いただきますようよろしくお願い致します。